

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要

計画主体名	計画期間
北海道和寒町	平成24年～平成26年

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
産業振興課	0165-32-2423	0165-32-4238	nou-ninaite@town.wassamu.hokkaido.jp

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
定住人口の確保	4.03%	
<p>事業活用活性化計画目標の設定根拠</p> <p>目標数値の設定は、和寒町総合計画で推計した人口推計値を基本に、本事業の実施による転出入割合の目標推計値を設定したものである。</p>		
事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
交流人口の増加	8.51%	計画区域における交流人口の増加(%)= $\frac{\text{計画期間内の計画区域外からの入込客数143,920人(目標)}}{\text{計画期間前の計画区域外からの入込客数132,631人(現状)}} \times 100 - 100$
<p>事業活用活性化計画目標の設定根拠</p> <p>目標数値の設定は、宿泊施設、観光施設、スポーツ施設、各種イベントの入込客数であり、和寒町総合計画の事務事業評価で行っている入込客数から、目標の推計値を設定したものである。</p>		

II 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要 望額 (千円)	交付額算 定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性
農山漁村定住促進施設	わっさむ地区	移住定住促進滞在施設	1棟107.91㎡	平成24年～ 平成25年	和寒町	32,500	16,250	1/2	16,250	新たに農林業関係の産業に従事しようとする者が、地域に一定期間滞在し移住定住を促進できるような移住定住促進滞在施設の整備を行い、担い手後継者の育成確保による定住人口の確保と交流人口の増加を図る。
農山漁村体験施設	わっさむ地区	農村体験交流施設	2棟132.48㎡	平成24年～ 平成25年	和寒町	60,600	30,300	1/2	30,300	農村の魅力である農林業体験や地域資源を活かした取り組みを学ぶための拠点施設として、宿泊機能を備えた農村体験交流施設の整備を行い、農村での交流体験を目標とした交流人口の増加を図る。
地域資源活用交流促進施設	わっさむ地区	地域資源活用交流促進施設／広場造成	1棟115.6㎡ 広場造成 12,000㎡	平成24年～ 平成25年	和寒町	217,000	108,500	1/2	108,500	地域の農産物や特産品の提供を行うことができる各種イベントの開催拠点として地域資源活用交流施設の整備を行い、農村での交流体験を目標とした交流人口の増加を図る。
リサイクル施設	わっさむ地区	木質バイオマス燃料製造施設／高性能林業機械	1棟504㎡ グラップルハー ベスタ1台 フォワーダ1台	平成24年	和寒町	161,000	80,500	1/2	80,500	再生可能エネルギーとなる間伐材や林地残材等の地域資源を有効に活用するため木質バイオマス燃料製造施設を整備するとともに、効率的な林業作業を行うことができるよう高性能林業機械の整備を行い、林業事業の活性化に伴う定住人口の確保を図る。
自然・資源活用施設	わっさむ地区	木質バイオマス燃料熱源供給施設	1棟121.5㎡ 配管延長 390m	平成24年	和寒町	194,400	97,200	1/2	97,200	地域資源を有効に活用し地域内循環を図ることができるよう木質バイオマス燃料熱源供給設備の整備を行い、地球温暖化対策や再生可能エネルギーの利活用を通じた林業の活性化を促進する。
合 計						665,500	332,750		332,750	

Ⅲ 優先枠等を活用する事業に関する事項

(交付対象事業別概要)

1 生産製造連携事業計画優先枠

優先枠の種類	事業メニュー名	地区名	優先枠に係る事業内容
1 生産製造連携事業計画優先枠			

2 再生可能エネルギー供給施設整備優先枠

優先枠の種類	地区名	優先枠に係る事業内容
2 再生可能エネルギー供給施設整備優先枠	わっさむ地区	木質バイオマス燃料製造施設で製造したチップを木質バイオマス燃料熱源供給施設に供給し、公共施設(役場・消防庁舎、図書館、保健福祉センター)への暖房用温水として循環させ再生可能エネルギーの活用を図る。

3 輸出促進条件整備事業

優先事項の種類	事業メニュー名	地区名	優先事項に係る事業内容
3 輸出促進条件整備事業			

